貨物自動車運送事業法令試験実施結果
（令和4年11月）

中部運輸局

令和4年11月21日

	受験者数	合格者数	合格率
中部運輸局	30	29	96.7%

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題
（令和４年１１月２１日）

申請者名（法人名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
受験者の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意事項）
※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

Ｉ．次の問題１から１７の文章で正しいものに〇を、誤っているものに×を（　　）内に記入しなさい。

問題１（定義）
「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び特別積合せ貨物運送事業をいう。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題２（過労運転の防止）
一般貨物自動車運送事業者は事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題３（事業計画）
国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業者が事業計画に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題４（運行管理規程）
一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者の職務・権限等に関する運行管理規程を定め、遅滞なく、国土交通大臣に届出なければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題５（輸送の安全）
　一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の数、荷役その他の事業用自動車の運転に附帯する作業の状況等に応じて必要となる員数の運転者及びその他の従業員の確保、事業用自動車の運転者がその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備及び管理、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題６（書面の交付等）
　親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、いかなる場合においても、直ちに、公正取引委員会規則で定めるところにより下請事業者の給付の内容、下請代金の額、支払期日及び支払方法その他の事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。（下請代金支払遅延等防止法）

（　　）

問題７　（運行管理者等の義務）
運行管理者は、一般貨物自動車運送事業者に対し国土交通省令で定める業務を行うため必要な権限を与えなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題８
不当に、地域又は相手方により差別的な対価をもつて、商品又は役務を継続して供給することであつて、他の事業者の事業活動を困難にさせるおそれがあるものは私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律において「不公正な取引方法」にあたる。（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）

（　　）

問題９（運行管理者）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運行管理者基礎講習を受けている者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１０（過労運転の防止）
　一般貨物自動車運送事業者は運転者が長距離運転又は夜間の運転に従事する場合であって、疲労等により安全な運転を継続することができないおそれがあるときは、あらかじめ交替するための事業用自動車を配置しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１１（点呼等）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者及び乗務を終了した運転者に対する点呼において、運行管理者（補助者）の勤務時間等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１２（整備管理者）
自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法）

（　　）

問題１３（輸送の安全）
　一般貨物自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１４（事業改善の命令）
国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することが出来る保険契約を締結することを命ずることができる。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１５（運行管理者の業務）
　運行管理者は、荷主に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）

（　　）

問題１６（事故の報告）
一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法）

（　　）

問題１７（報告書の提出）
　一般貨物自動車運送事業者は、使用する自動車について、自動車事故報告規則第２条各号の事故があった場合には、３０日以内に、当該事故ごとに自動車事故報告書３通を国土交通大臣に提出しなければならない。（自動車事故報告規則）

（　　）

Ⅱ．次の問題１８から２４の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題１８（事業の譲渡し及び譲受け等）
次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして誤っているものを１つ選び（　　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法）
ア．事業の譲渡し及び譲受け
イ．法人の合併及び分割
ウ．事業の休止及び廃止

（　　）

問題１９（運送約款の記載事項）
　次の内、運送約款に掲げなければならない事項として正しいものはどれか。（貨物自動車運送事業法施行規則）
　ア．運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
　イ．主たる事務所の名称及び位置
　ウ．訴訟手続きに関する事項

（　　）

問題２０（自動車に関する表示）
　次の文中にあてはまる正しいものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（道路運送法）
　自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、（　　）その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

ア．住所及び連絡先　イ．名称又は記号　ウ．営業所及び所在地

問題２１（過労運転の防止）
一般貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から２つ選び（　　）に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則）
ア．日々雇い入れられる者
イ．道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
ウ．試みの使用期間中の者（１４日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）
エ．事務職として採用した正規職員

（　　）（　　）

問題２２（事業報告書及び事業実績報告書）
　一般貨物自動車運送事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を、提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び（　　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業報告規則）
① 事業報告書　　（　　）
② 事業実績報告書　　（　　）
　ア．前年１月１日から１２月３１日までの期間に係るものを毎年５月３１日まで
　イ．前年４月１日から３月３１日までの期間に係るものを７月１０日まで
　ウ．前年１０月１日から９月３０日までの期間に係るものを毎年１２月３１日まで
　エ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１００日以内
　オ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１２０日以内
　カ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年５月３１日まで

問題２３（事業計画）
次のア～ウのうち、事業計画として記載しなければならない事項としてあてはまらないものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則）
ア．営業区域
イ．自動車車庫の位置及び収容能力
ウ．貨物自動車利用運送を行うかどうかの別

（　　）

問題２４（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）
貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示（平成元年２月９日労働省告示第７号）によって定められています。　（　　）内に入る正しいものを①～⑥から選び記入しなさい。

ア．運転時間は、２日を平均し１日当たり９時間、２週間を平均し１週間当たり（　　）を超えないものとすること。
イ．連続運転時間は、（　　）を超えないものとすること。
ウ．拘束時間は、１箇月について（　　）を超えないものとすること。
エ．１日についての拘束時間は、１３時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は（　　）とすること。
オ．勤務終了後、継続（　　）以上の休息期間を与えること。

①　２９３時間　②４８時間　③８時間　④４４時間　⑤４時間　⑥１６時間

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題（解答）
（令和４年１１月２１日）

申請者名（法人名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
受験者の氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（注意事項）
※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

Ⅰ．次の問題１から１７の文章で正しいものに〇を、誤っているものに×を（　　）内に記入しなさい。

問題１（定義）
「貨物自動車運送事業」とは、一般貨物自動車運送事業、特定貨物自動車運送事業及び特別積合せ貨物運送事業をいう。（貨物自動車運送事業法第２条第１項）
（正）貨物軽自動車運送事業

（　×　）

問題２（過労運転の防止）
一般貨物自動車運送事業者は事業計画に従い業務を行うに必要な員数の事業用自動車の運転者を常時選任しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第３条第１項）

（　〇　）

問題３（事業計画）
国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業者が事業計画に違反していると認めるときは、当該運行管理者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第８条第２項）
（正）一般貨物自動車運送事業者

（　×　）

問題４（運行管理規程）
一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者の職務・権限等に関する運行管理規程を定め、遅滞なく、国土交通大臣に届出なければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２１条）
（正）届出義務なし

（　×　）

問題５（輸送の安全）
　一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の数、荷役その他の事業用自動車の運転に附帯する作業の状況等に応じて必要となる員数の運転者及びその他の従業員の確保、事業用自動車の運転者がその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備及び管理、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。（貨物自動車運送事業法第１７条第１項）

（　○　）

問題６（書面の交付等）
　親事業者は、下請事業者に対し製造委託等をした場合は、いかなる場合においても、直ちに、公正取引委員会規則で定めるところにより下請事業者の給付の内容、下請代金の額、支払期日及び支払方法その他の事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。（下請代金支払遅延等防止法第３条第１項）
（正）「いかなる場合においても」が誤り
　ただし、これらの事項のうちその内容が定められないことにつき正当な理由があるものについては、その記載を要しないものとし、この場合には、親事業者は、当該事項の内容が定められた後直ちに、当該事項を記載した書面を下請事業者に交付しなければならない。

（　×　）

問題７　（運行管理者等の義務）
運行管理者は、一般貨物自動車運送事業者に対し国土交通省令で定める業務を行うため必要な権限を与えなければならない。（貨物自動車運送事業法第２２条第２項）
（正）一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者に対し

（　×　）

問題８
不当に、地域又は相手方により差別的な対価をもつて、商品又は役務を継続して供給することであつて、他の事業者の事業活動を困難にさせるおそれがあるものは私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律において「不公正な取引方法」にあたる。（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第２条第９項第２号）

（　○　）

問題９（運行管理者）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、運行管理者基礎講習を受けている者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。（貨物自動車運送事業法第１８条第１項）
（正）運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから

（　×　）

問題１０（過労運転の防止）
　一般貨物自動車運送事業者は運転者が長距離運転又は夜間の運転に従事する場合であって、疲労等により安全な運転を継続することができないおそれがあるときは、あらかじめ交替するための事業用自動車を配置しておかなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第３条第７項）
（正）運転者

（　×　）

問題１１（点呼等）
一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を開始しようとする運転者及び乗務を終了した運転者に対する点呼において、運行管理者（補助者）の勤務時間等都合による場合は、対面に代えて電話による点呼を行うことができる。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第７条第１項）
（正）運行上やむを得ない場合を除き、対面で点呼しなければならない

（　×　）

問題１２（整備管理者）
自動車の使用者は、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。（道路運送車両法第５０条第１項）

（　○　）

問題１３（輸送の安全）
　一般貨物自動車運送事業者は、経営の責任者の責務を定めることその他の国土交通大臣が告示で定める措置を講ずることにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２条の２）

（　○　）

問題１４（事業改善の命令）
国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することが出来る保険契約を締結することを命ずることができる。（貨物自動車運送事業法第２６条）

（　○　）

問題１５（運行管理者の業務）
　運行管理者は、荷主に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第２０条第１項）
（正）運転手に対して

（　×　）

問題１６（事故の報告）
一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたときは、遅滞なく、事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。（貨物自動車運送事業法第２４条）

（　○　）

問題１７（報告書の提出）
　一般貨物自動車運送事業者は、使用する自動車について、自動車事故報告規則第２条各号の事故があった場合には、３０日以内に、当該事故ごとに自動車事故報告書３通を国土交通大臣に提出しなければならない。（自動車事故報告規則第３条第１項）

（　○　）

Ⅱ．次の問題１８から２４の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

問題１８（事業の譲渡し及び譲受け等）
次の申請のうち、国土交通大臣の認可を要するものとして誤っているものを１つ選び（　　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業法第３０条第１項、第２項、第３２条）
ア．事業の譲渡し及び譲受け
イ．法人の合併及び分割
ウ．事業の休止及び廃止

（　ウ　）

ア．○　イ．○　ウ．３０日前までに届出

問題１９（運送約款の記載事項）
　次の内、運送約款に掲げなければならない事項として正しいものはどれか。（貨物自動車運送事業法施行規則第１１条）
　ア．運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
　イ．主たる事務所の名称及び位置
　ウ．訴訟手続きに関する事項

（　ア　）

問題２０（自動車に関する表示）
　次の文中にあてはまる正しいものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（道路運送法第９５条）
　自動車（軽自動車たる自家用自動車、乗車定員十人以下の乗用の自家用自動車、特殊自動車たる自家用自動車その他国土交通省令で定めるものを除く。）を使用する者は、その自動車の外側に、使用者の氏名、（　イ　）その他の国土交通省令で定める事項を見やすいように表示しなければならない。

ア．住所及び連絡先　イ．名称又は記号　ウ．営業所及び所在地

問題２１（過労運転の防止）
一般貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者として選任してはならない者を、次の中から２つ選び（　　）に記入しなさい。（貨物自動車運送事業輸送安全規則第３条第２項）
ア．日々雇い入れられる者
イ．道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
ウ．試みの使用期間中の者（１４日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）
エ．事務職として採用した正規職員

（　ア　）（　ウ　）

問題２２（事業報告書及び事業実績報告書）
　一般貨物自動車運送事業者は貨物自動車運送事業報告規則に定める報告書を、提出期限までに提出しなければならないことになっています。次の①と②の報告書の報告期間及び提出期限をア～カの中から選び（　　）内に記入しなさい。（貨物自動車運送事業報告規則第２条第１項）
①事業報告書　　（　エ　）
②事業実績報告書　　（　イ　）
　ア．前年１月１日から１２月３１日までの期間に係るものを毎年５月３１日まで
　イ．前年４月１日から３月３１日までの期間に係るものを７月１０日まで
　ウ．前年１０月１日から９月３０日までの期間に係るものを毎年１２月３１日まで
　エ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１００日以内
　オ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後１２０日以内
　カ．毎事業年度に係るものを当該事業年度の経過後毎年５月３１日まで

問題２３（事業計画）
次のア～ウのうち、事業計画として記載しなければならない事項としてあてはまらないものを１つ選び（　　）内に記号で記入しなさい。（貨物自動車運送事業法施行規則第２条第１項）
ア．営業区域
イ．自動車車庫の位置及び収容能力
ウ．貨物自動車利用運送を行うかどうかの別

（　ア　）

問題２４（貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等）
貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示（平成元年２月９日労働省告示第７号）によって定められています。　（　　）内に入る正しいものを①～⑥から選び記入しなさい。

ア．運転時間は、２日を平均し１日当たり９時間、２週間を平均し１週間当たり（　④　）を超えないものとすること。
イ．連続運転時間は、（　⑤　）を超えないものとすること。
ウ．拘束時間は、１箇月について（　①　）を超えないものとすること。
エ．１日についての拘束時間は、１３時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は（　⑥　）とすること。
オ．勤務終了後、継続（　③　）以上の休息期間を与えること。

①　２９３時間　②４８時間　③８時間　④４４時間　⑤４時間　⑥１６時間